



ゲームには、積極的に参加しています

女子サッカーチームを指導する

新見 大陸さん

にいみ・だいろく
美咲き野在住。
ガールズサッカースクール
千歳地区監督。市内で自営
業を営み、サッカースクー
ルのほかにもPTA、消防
団、商工会の活動など、忙
しい日々を過ごしている。



ふるさと北広島

新見さんは生まれも育ちも北広島。JR北広島駅近くの助産師に取り上げてもらったそう。生粋の北広島人ということになる。

北広島のことを聞いてみた。「ぎすぎすしていなくて、おおらか、人が良い！ それと環境が素晴らしいです。自然がたくさんあるのに、交通の便が良く、どこへ行くのも便利」。要するに大好きというところらしい。

「子どものころは悪ガキだったと思います。学校帰りに建設会社の端材をおもちゃ代わりに遊んでも、見逃してくれていたようです。私は地域の人たちに育ててもらったと思っています」と笑顔で語ってくれた。

女子チームの監督に

北広島サッカー少年団出身

育ててくれた 地域に恩返ししたい

の新見さん。長女が小学生のときサッカー少年団に入っていたので、新見さんも関わるようになった。5年生になつたある日「女子だけのサッカーチームに入りたい！」と言われ、当時あつた女子サッカーチームの指導を手伝うことに。それが監督になるきっかけだ。しかし、女子チーム自体が長続きしなかった。

「子どもたちが通うのに無理のないサッカーチームをつくりたいと思い、コーチと2人でガールズサッカースクール千歳地区を立ち上げました。他の少年団に所属していても入れます」と熱っぽく話す。ガールズサッカースクール千歳地区では、楽しくサッカーができる環境づくりを進めている。普段の練習では個人の技術の習得が中心だ。ドリブルやパス回しなどから始まり、ゲームも行う。大会前は戦術などをトレーニングする

そう。うれしいことと苦労監督をしていてうれしいことは、練習でうまくいかなかった苦勞していた子が、試合でゴールを決めたとき、笑顔が一番近くで見られること。苦勞が報われる瞬間。お金には代えられない監督の特権だ。「他のチームと掛け持ちしている子が多く、家族も忙しい。スケジュール管理の面で苦勞しているかもしれないですね。私自身も自営業以外にPTA、消防団、商工会で活動していることもあり、家族に迷惑を掛けていると思いません」と苦笑い。

小さな夢、大きな夢

ガールズサッカースクール千歳地区は、指導者3人に対し、子どもが3人という時期があつた。人数が増えてくると、大会に出たいと思うよう

に。3年目くらいから全道大会で良い成績が残せるようになり、今年2月の全国大会でベスト4になった。また、年次別の日本代表選抜選手もいて、アジア各国の代表と戦う大会で活躍した。これからは楽しみだ。

新見さんの小さな夢。小学生中心のチームが活躍し、進級しても中学生だけでゲームができるようになればと考えている。

さらに、大きな夢がある。「私を育ててくれた地域に恩返しをしたいです。みんなが集まれる場所やコミュニティをつくりたい。子どもたちが遊べて、地域の人たちも集まり、いろいろなことができ居場所づくりができたらいいですね。サッカーがその中の一つになればいいと思います」。少年のように目が輝いた。ぜひ、夢を実現させてほしい。

